

会派代表質問	P 2~3
一般質問	P 4~8
委員会審査	P 8~9
議案等審議・賛否	P10
議決結果・	P11
特集	P12

つくば市議会だより

SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

令和6年度当初予算案を予算決算委員会各分科会で審査しました！

令和6年度当初予算案の主な事業

● 総務文教分科会 ●

新規 市長・市議会議員選挙オンデマンド型
移動期日前投票事業 1,328万円



- 拡充** 校内フリースクールの拡充 3億 502万円
- 新規** 高等学校通学支援金の創設 1億 6,152万円
- 拡充** 中央図書館リノベーション事業 2億 3,863万円
ほか

● 福祉保健分科会 ●

新規 1か月児健診事業 1,469万円



- 新規** 児童発達支援センター設計委託事業 946万円
- 新規** 児童館土日開放実証実験事業 1,208万円
- 新規** 保育士配置支援事業費補助金の創設 8,486万円
ほか

● 市民経済分科会 ●

新規 森林バンク制度構築事業 702万円



- 継続** 男性育児休業取得促進事業 3,300万円
- 新規** 労働者協同組合の運営費補助金の創設 180万円
- 継続** 高機能消防指令センター更新事業 9億 9,169万円
ほか

● 都市建設分科会 ●

継続 魅力ある公園建設事業 4億 8,684万円



- 継続** 道路・街路維持管理事業 20億 6,185万円
- 継続** 橋梁寿命化事業 3億 908万円
- 拡充** 空き家対策事業 547万円
ほか

令和6年1月29日にこども議会が開催
(並木小学校)



児童が議員、執行部役となり
本会議を実演



つくば市議会
チャンネル



YouTubeで動画を
配信しています

チャンネル
登録願
います

3月定例会ハイライト

- 会派代表質問 3名の議員が施政方針を問う
- 一般質問 17名の議員が白熱の議論を展開
- 議案審議 議案など81件、請願2件、意見書案3件

6月定例会議開催予定

- 6月 6日(木) 本会議再開
- 14日(金) 一般質問
- 17日(月) 一般質問
- 18日(火) 一般質問・総括質疑
- 20日(木) 予算決算(総務文教・福祉保健)・総務文教・福祉保健委員会
- 21日(金) 予算決算(市民経済・都市建設)・市民経済・都市建設委員会
- 26日(水) 予算決算委員会
- 28日(金) 討論・採決・閉会



主要施策 と 当初予算

令和 6 年 3 月定例会の開会日に、五十嵐市長が「令和 6 年度市政運営の所信と主要施策」について述べました。

詳細はこちら ▶

市政運営の所信と
主要施策の概要



令和 6 年度の主要施策

1 徹底した行政改革

- ▶ 市長・市議会議員選挙オンデマンド型移動期日前投票事業
- ▶ 生成 AI の利活用推進事業
- ▶ 保育所入所事務における電子通知システムの導入 など

2 安心の子育て

- ▶ こども未来センターの設置
- ▶ 1 か月健診事業
- ▶ 保育士配置支援事業費補助金の創設
- ▶ 高等学校通学支援金の創設 など

3 頼れる福祉

- ▶ 高齢者補聴器購入費補助金の創設
- ▶ 若年がん患者生活支援助成金の創設
- ▶ 児童発達支援センター設計委託事業
- ▶ つくばこどもの青い羽根学習会の拡充 など

4 便利なインフラ

- ▶ 地域公共交通政策点検・評価事業
- ▶ シェアサイクルポートの拡充
- ▶ メモリアルホール長寿命化改修事業
- ▶ 高機能消防指令センター更新事業 など

5 活気ある地域

- ▶ 労働者協同組合の運営費補助金の創設
- ▶ 地域活性化人材育成事業
- ▶ 農業機械等整備支援補助金の創設
- ▶ つくば市民・学校プールの開設 など

6 誇れるまち

- ▶ 環境基本計画等進捗管理及び改定
- ▶ 脱炭素先行地域づくり事業
- ▶ 良好な公園環境の維持管理事業
- ▶ 筑波ふれあいの里キャンプ場改修事業 など

会派代表質問

会派の構成議員数が 3 人以上の会派から、会派を代表して 1 人が行います。今定例会では、3 会派の代表者が市長の「令和 6 年度市政運営の所信と主要施策」に対して質問を行いました。



つくば自民党・創生クラブ

質問者

くろだ けんすけ
黒田 健祐 議員

代表

くろだ けんすけ 黒田 健祐	くぼ や たかお 久保谷 孝夫	ごとう やすまさ 五頭 泰誠	こくぼ たかし 小久保 貴史
かみや だいぞう 神谷 大蔵	ながつか たかひろ 長塚 俊宏	たかの ふみお 高野 文男	
こむら まさふみ 小村 政文			



選ばれるまちづくりについて

(質問) 令和 5 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳に基づく調査において、人口増加率が全国 1 位になったことが言及されている。新型コロナウイルス感染症の影響もあったかと思うが、つくば市未来構想に示される 2048 年約 29 万人の人口の将来展望に向け「選ばれるまち」として取り組んできたこと、また今後意識して取り組むことを伺う。

(答弁) 人口の将来展望に向け取り組んできたことについては、科学技術都市つくばの強みを生かした「スーパーサイエンスシティ構想」の実現に向けたさまざまな取り組みや中心市街地および周辺市街地の活性化、教育大綱の理念の実現に向けた取り組み、児童生徒の急増に対応するための学校施設の整備などを着実に進めてきた。今後意識して取り組むことについては、引き続き市民との丁寧な対話を積み重ねながら、地域やコミュニティにさまざまな「つながり」をつくる拠点となる「たまり場」や「居場所」を増やすとともに、人口増加により生まれた中心部の活力を市全域に波及させるような遠心力を生み出す施策を推進していく。

(意見) 引き続き未来構想に記載された人口ビジョンを意識していただき、各施作の取り組みをお願いします。



市長の今後のつくば市政に懸ける思いについて

(質問) 市長 2 期目の最後の予算編成である。就任時以来「世界のあしたが見えるまち」を掲げ取り組んできたその思いと、令和 6 年秋に予定される市長選への出馬の意向を含め、今後のつくば市政に懸ける思いを伺う。

(答弁) 市長就任以来、市民第一の市政を推進するため、市民との対話を積み重ね、市民に寄り添い、さまざまな課題と真摯に向き合い、「世界のあしたが見えるまち」の実現に取り組んできた。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の拡大や大規模な災害など、地域やコミュニティのさまざまな「つながり」の重要性を改めて認識する機会が多かった。顔と顔が見える場で対話が生まれ、新たなまちの活力が生み出される。「たまり場」や「居場所」となる拠点を活用し、多様なコミュニティでつながりを力に誰もが幸せを感じ、喜びと誇りを持って暮らし続けられるまちを「ともに創る」ことこそ、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの鍵になると考えている。まちの発展を持続的なものとするため、まちを創る主体である市民が自らまちづくりに関わり、地域の活性化や課題解決に向けた施策を展開し、共に創る市政を進める。つくば市は確実に変化しており、この変化の動きを止めることなく「世界のあしたが見えるまち」へさらに前進するため、3 期目も引き続き市長として市政運営を担うべく強い決意を持っている。



自民党政清クラブ

質問者

いいおか ひろゆき
飯岡 宏之 議員



代表

いいおか ひろゆき
飯岡 宏之
すずき ふじお
鈴木 富士雄
きむら しゅうじ
木村 修寿
つかもと ようじ
塚本 洋二
みやもと たつや
宮本 達也

オンデマンド型移動期日前投票について

(質問) オンデマンド型移動期日前投票は、投票所までの移動が難しい高齢者や障害者が投票しやすい環境を整備するという目的については同意するが、10月の市長・市議選で行い、市全体ではなく、わずかに二カ所の地区だけで行うという。市長選、市議選のような各地区から候補者が名乗り出る選挙について、果たして、選挙の大原則である公平性・平等性が保たれていると言えるのか。この一部の地域だけで行う利点と弊害について市の見解は。

(答弁) オンデマンド型移動期日前投票については、つくばスーパーサイエンスシティ構想の下、インターネット投票に向けた段階的ステップの一つとして実施するものである。その他、市内全域で投票所までの移動が困難な高齢者や障害者などの投票しやすい施策についても、現在、さらに検討を深めている。オンデマンドの実証実験では、市内で大変急な坂道のある山間部において移動が困難な方が投票所まで行くのが厳しいエリアで実施した。また、オンデマンド投票の対象者と同様に、市内全域で投票所までの移動が困難な高齢者や障害者などについても、投票しやすい施策をさらに検討している。今後の運営方法や実施する地区の決定については、実証実験での結果を踏まえて、選挙管理委員会で協議していただく。

緊急通報システムの大幅拡大を!

(質問) 緊急通報システムは、事故災害時発生時に高齢者の安否を確認でき、迅速な対応が可能で、高齢者が必要なサポートを受けることができる。ところが、現在一人暮らしの高齢者のみが対象になっている。市内には高齢者の夫婦世帯が老々介護をしている場合も多く、この緊急通報システムは、高齢者の生命と安全を守るために欠かせないものであり、一人暮らしのみならず全高齢者対象の大幅拡大が行政の重要な役割と考えるが、市の見解は。

(答弁) 緊急通報システム事業については、災害や犯罪に対する駆け付けなどのサービスは提供していないが、災害の発生時には委託業者から利用者の安否確認連絡を行う体制を整備している。対象者の拡大やサービスの拡充については、近隣自治体の取り組み状況や市民からの要望を踏まえ、調査研究していく。



つくば・市民ネットワーク

質問者

みながわ ゆきえ
皆川 幸枝 議員



代表

みながわ ゆきえ
皆川 幸枝
こもりや さやか
小森谷 さやか
かわむら なおこ
川村 直子
あさの えくこ

気候変動対策、市民提言の見える化を!!

(質問) 気候変動対策は待ったなしの状況であり、つくば市でも全庁的、全市民的に最優先で取り組むべき課題である。現在、市が取り組んでいる気候変動対策の施策や、令和5年の気候市民会議で出た提言の進捗が見える化していくことが必要だと考えるが、見解を伺う。

(答弁) 気候市民会議からの74の提言について、ロードマップを策定していつまでにどのように検討・実現するかを示し、可能な限りKPIを設定して進捗管理を行う。参加者有志で結成されたフォローアップチームとも情報共有し、意見交換などの実施を検討していく。続いて、国の先行的モデル事業として県内発の脱炭素先行地域に選定されたつくば駅周辺地区で、2030年までに脱炭素化を目指す。その成功事例を基に脱炭素ドミノを起こし、2050年までに市内全域での取り組みを横展開する。その他、公共施設への太陽光発電設備の導入、主な照明の100%LED化の推進、公用車のEV化などを進める。また、つくば駅周辺で脱炭素先行地域だと感じられる仕掛けを作るなど、取り組みの進捗が市民や事業者に見えるようにすることが重要と考える。

(要望) 気候変動対策という困難な課題にたくさんの市民が取り組めるよう、広報を工夫し、積極的な呼びかけをお願いする。

不登校 30万人から見える学校教育のあり方

(質問) 日本全体で不登校児童生徒数がおよそ30万人となり、学校の在り方が問われていると先日のNHKでも放送され、私達に問題提起されていると言える。つくば市教育大綱の理念からも、一斉授業ではない、子どもが自ら学ぶ力を発揮するために、学校の在り方を再考する必要があると考えるが、見解を伺う。

(答弁) 学校の在り方については、令和2年度策定につくば市教育大綱の理念に基づき、学校では教師主体の教えから子ども主体の学びへの転換を目指して取り組んできた。令和5年度は全ての授業で探究的な学びの構築を目指し、自分の学びに合わせて学習の課題や形態、内容を選ぶなど、児童生徒自らが選択し決定できる機会を設けるよう、学校に呼びかけてきた。また、幸せな学校づくりのためのルールメイキング事業などを通し、課題解決に児童生徒自らが主体となって関わることで自己肯定感が向上し、自己決定することの大切さを感じられるように進めている。さらに、それらの教育活動の中で、自己有用感や他者への信頼感など、児童生徒の感性を高めるような授業や体験活動も研究し、非認知能力を常に意識している。今後も、児童生徒の自律的に学ぶ力が一層育まれ、学ぶことの楽しさを体感し、みんなが幸せを実感できる学校を作っていく。



きむら しゅうじ
木村 修寿 議員

(自民党政清クラブ)



子育て支援拠点事業について

(質問) 地域の身近な場所で、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や育児相談などができる場を提供する事業である。現在の状況、運営方法や市内 TX 沿線地区での取り組みを伺う。

(答弁) 地域子育て支援拠点事業については、子育て支援サービスの中核を担う施設である子育て総合支援センターへの指定管理のほか、市内 10 カ所において委託により事業を実施している。各施設には、専任職員を常時 2 名以上配置し、子育て総合支援センターは週 6 日、他施設は、9 カ所が週 5 日、1 カ所が週 3 日開催している。TX 沿線については、令和 5 年度は、みどりの駅近くに新たな拠点を設置した。今後も、子育て世帯増加の状況なども踏まえて、計画的に拠点の設置を進める。

(質問) 地域交流センターなどへ出張する子育て広場の実施状況や市内 TX 沿線地区での取り組みを伺う。

(答弁) 出張子育て広場については、令和 5 年度は、市内 7 カ所で実施している。その中で、TX 沿線については、研究学園駅近くの研究学園小学校児童クラブおよびつくば駅近くの Bivi つくばで、それぞれ週 1 回実施している。

(要望) 市内 TX 沿線地域は人口が増加しており、特に子育て世代が多く住む地域でもある。週 1 回の出張広場だけでなく、常設型の子育て支援拠点施設を市内 TX 沿線地域に施設整備していただきたい。

このほか、生活困窮者自立支援、不法投棄について質問した。



かわくぼ みなみ
川久保 皆実 議員

(つくばチェンジチャレンジ)



託児機能付きワークスペースの創出を！

(質問) つくば中心市街地まちづくり戦略には、子育て世代などが場所や時間に捉われず働きやすくなる環境づくりを行うと記載されている。自習が可能な中央図書館に託児サービスを導入するなど、つくば中心市街地にある既存施設を活用して、上記の環境づくりを実現することについての考えを伺う。

(答弁) つくば駅周辺での具体的な施策については、つくば駅周辺の利便性を高めるため必要な機能、求められる機能を把握しながら、市として取り組める施策を検討していく。つくば駅周辺は子育て世代が多く、通勤者や就業者の需要もあることから、一定程度の必要性はあると考えるが、子育て世代が求めるニーズを、より深掘りして分析する必要があると考えるので、令和 6 年度はアンケートなどにより市民意見を把握する。図書館などの既存施設の利用は、利用状況なども含め、現状を把握する必要があるため、アンケートなどによる必要性の把握と併せて、有効活用が可能な施設についても令和 6 年度に調査を進める。

(質問) 子育て総合支援センターの一時預かりを利用する保護者向けに、同センター内に 2 室ある多目的室の 1 室をワークスペースとして開放することについての考えを伺う。

(答弁) 復職のための勉強の場などとして開放することについては、令和 6 年度中に子育て総合支援センターの指定管理事業者との協議や、一時預かり利用者へのニーズなどの調査を行い、検討していく。

このほか、公園遊具の設置、公立幼稚園の課題と対策、市職員の時間外勤務時間の削減について質問した。



かみや だいぞう
神谷 大蔵 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



屋外スポーツ施設「河川敷利用」の考え方

(質問) 市内野球場やサッカー場、多目的運動場の予約状況と現在の利用状況が市民ニーズに答えられているかについて伺う。

(答弁) ソフトボール場および主に野球で利用される多目的広場を含む野球場は 12 カ所あり、令和 4 年度の稼働率は、平日が 13.4%、土日祝日が 43.3% である。また、主にサッカーで利用される多目的広場を含むサッカー場は 5 カ所あり、令和 4 年度の稼働率は、平日が 31.2%、土日祝日が 62.4% である。利用ニーズに対する施設の現状については、比較的稼働率が高い土日祝日では、希望する日または時間帯の予約が取りにくいこともあると考えている。野球場、多目的広場、サッカー場は、人口増加に伴い施設の利用希望が増えることで、将来的には不足する可能性もあると考えている。今後も、引き続き施設の利用状況や市民ニーズなどの把握に努め、必要な施設の整備を検討する。

(要望) 土日祝日の施設利用が集中しているため、希望時間の予約が取りにくい現状を踏まえ、気軽に利用し易い屋外スポーツ施設として「河川敷」の環境整備を検討していただきたい。

加えて河川敷を利用することで、河川の適正管理により水害のリスクを軽減し、治水へ貢献できるメリットも考えていただきたい。



このほか、筑波山ゲートパークの状況、鳥獣被害対策、地酒(日本酒・ワイン・ビール)の振興について質問した。



こくぼ たかし
小久保 貴史 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



史跡小田城と公有化した土地活用について

(質問) 小田城跡歴史ひろば案内所の来場者数と今後の取り組みについて伺う。

(答弁) 来場者数は令和 4 年度が 1 万 9,231 人である。令和 5 年度は、1 月末現在で 1 万 3,043 人だが、例年の状況からすると、この後、桜が開花する時季に向けて、来場者の増加が見込まれる。今後の取り組みについては、小田城跡を多くの方に知ってもらう機会として、企画展や地域と連携したイベントの開催などを継続していく。

(質問) 公有化した史跡指定地について、今後の土地活用の整備計画について伺う。

(答弁) 整備していない公有地については、平成 12 年度策定の「史跡小田城跡復元整備基本計画」において、区域の特性にあった整備をしていくことを、将来的な目標としている。史跡南側の市街化調整区域は、城跡の地形が残るまとまった土地であるため、城の堀や土塁の配置が分かるような状態に整備していくことを方針としている。史跡北側の市街化区域は、所有者の申し出により公有化した小さな土地が散在しているため、まとまった活用は難しく、城跡散策のための案内板や休憩の場を整備していく。

(要望) 小田保育所、小田児童館、旧小田小学校プール敷地など、一帯的な今後の土地活用方針や周辺道路整備を要望した。

このほか、営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)の農地法施行規則の改正内容と今後について質問した。



やまなか まゆみ
山中 真弓 議員

(日本共産党つくば市議団)



タクシー運賃助成で使いやすい公共交通を

(質問) つくタクに留まらない、高齢者が気軽に利用できる移動支援が必要である。つくタクの運行経費と利用者数、一人当たりの市負担額・平均乗車距離と平均距離での運賃換算額を伺う。

(答弁) 令和 4 年度のつくタクの運行経費は約 1 億 5,800 万円であり、内訳としては、つくタクを運行するタクシー会社 12 社に支払うタクシー車両の借り上げ料に加え、つくタク予約センターのオペレーターの人件費である。また、令和 4 年度の年間の利用者数は延べ 4 万 8,789 人であり、運行経費から運賃収入を差し引いた、利用者 1 人 1 回当たりの市負担額は、3,029 円となる。1 回当たりの平均乗車距離とその距離のタクシー運賃については、令和 4 年度の年間利用者のうち 96% が特例ポイントを含む地区内移動者であり、平均乗車距離は 5.3km で、現在の一般タクシーの運賃に換算すると 2,100 円相当である。また、残りの 4% が共通ポイントへの移動であり、平均乗車距離は 11.8km で、一般タクシーの運賃に換算すると 4,600 円相当となる。

(意見) 利用実態は運賃換算額と利用者数を乗じて算出すると約 1 億円で、全額補助でも市支出を 5 千万円削減できるので運賃補助を提案する。利用者は、運賃割引証を提示して助成券を割引価格で購入し、予約センターを介さずいつでもどこでもタクシーを利用できるようになる。



▲一般質問資料

このほか、災害時の水源確保、高齢者のゴミ出し支援、市内小中学校の教員の研修費、給食費の無償化について質問した。



かねこ かずお
金子 和雄 議員

(新社会党つくば)



市政運営所信と主要施策について

(質問) 主要施策において、①「安心の子育て」と「頼れる福祉」における具体的な成果と今後の取り組み、② 1 か月健診の事業内容、③ 児童発達支援センターの実施予定事業と役割について伺う。

(答弁) ①「安心の子育て」では、令和 5 年度で地域子育て支援拠点の増設や校内フリースクールの拡充を含む不登校児童生徒支援事業などを実施した。令和 6 年度は、1 か月児健診費用の公的助成や、放課後の居場所や多様な活動機会を提供するためのアフタースクールモデル事業、高校生の遠距離通学負担軽減のための支援金事業などを新たに始める。「頼れる福祉」では、令和 5 年度に利用実績が多くあった高齢者電動アシスト自転車購入費補助事業や、各学校に必要な特別支援教育支援員の拡充などを行った。令和 6 年度は、中等度難聴高齢者のための補聴器購入費補助金の創設のほか、障害者団体などへの活動費補助の拡充や、春日庁舎を改修して開設する児童発達支援センターの設計業務などを進める。②身体発育状況や栄養状態の確認、身体の異常の早期発見および子どもの健康状態や育児の相談などを出産した病院などで行う。保護者負担だった費用を公的助成することで、出産後から就学前まで切れ目のない健康診査の実施体制を整備するものである。③総合相談や、専門職による相談などを実施する相談事業、親子通所を主とし、障害種別に関わらず 1 日 40 ～ 50 人程度を受け入れる児童発達支援事業などを行う。また、地域支援事業や家族支援事業などを実施し、市の発達支援の中核的な役割を担う。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策について質問した。



こむら まさふみ
小村 政文 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



つくば市の空き家対策は？

(質問) 第 2 期つくば市空家等対策計画策定から 1 年が経つが進捗は？

(答弁) 第 2 期つくば市空家等対策計画の初年度に当たり、空家対策啓発冊子のリニューアル、空家等対策に関する出前講座、エンディングノートへの啓発チラシ同封を実施した。成果としては、利活用相談や啓発冊子の配布などをきっかけとした空家バンクへの登録件数が、令和 5 年 12 月末時点で 11 件あり、令和 4 年度の 3 件と比較すると 8 件増加している。また、成約件数は令和 5 年 12 月末時点で 2 件あり、令和 4 年度の 0 件と比較すると 2 件増加している。

(質問) 空き家の相続登記が令和 6 年 4 月から義務化されるが、どのように施策を進めていくのか？

(答弁) 相続登記については、令和 6 年 4 月 1 日から、相続登記が義務化され、法務局が中心となり周知が図られると考えている。相続登記がされないまま放置されている空家については、市も対応に苦慮しており、相続登記を促すことは重要と考えている。相続登記の義務化については、司法書士会などの関連団体と連携しながら、市 HP や空家適正管理啓発冊子などへの掲載により周知を図っていく。また、相続権者の相続に関する意識の涵養を図るため、被相続人が亡くなった際に相続権者が検討するべき内容をまとめた「相続ガイドブック」を作成し配布する予定である。



はしもと けいこ
橋本 佳子 議員

(日本共産党つくば市議団)



荃崎給食センターの廃止反対・早期建て替えを

(質問) 市直営の荃崎給食センターは、荃崎中学校は自校式・幼稚園・荃崎第一小学校・第二小学校・第三小学校・高崎中学校は 5 ～ 10 分以内で出来立ての給食が届く。(仮) 桜給食センターの開所後、食数は足りるので廃止と決めてしまった。自校式の良さも広げたいと、今まで自校式で提供してきた地域を解体し、荃崎第二小学校だけにすると提案は到底理解できない。地域の要求は建て替えである。

(答弁) 荃崎学校給食センターは、供用開始から 40 年以上が経過し、建物や設備・機器などの老朽化が著しいために、継続して活用することができず、閉所しなければならない状況である。しかし、荃崎学校給食センターを閉所すると、その分の食数と児童生徒増加分の食数を提供できる給食センターを整備する必要があるため、(仮称) 新桜学校給食センターを整備し、1 日当たり約 3 万食を提供できる体制を整えることとしている。今後、荃崎地区における給食センターの在り方については、令和 3 年 3 月策定の「つくば市給食センター整備方針」で、「今後の市全体の児童生徒数の動向を注視しながら再度検討していく」とあることから、今後も引き続き、人口の推移、市の給食施設の状況を見ながら検討する。今回提案した荃崎の新しい給食施設は、つくば市学校給食の在り方懇談会での意見から学校給食のさらなる向上を目指す新たな試みである。今後も、市全体の学校給食の在り方について検討を重ねていく。

このほか、放課後児童健全育成事業として市内の児童クラブへの調査指導、木造住宅の耐震化で災害に強いまちづくりについて質問した。



はまなか かつみ
浜中 勝美 議員

(公明党つくば)



男性育児休業取得促進奨励金事業について

(質問) つくば市では、育児休業制度を利用する男性労働者を雇用する中小企業などの事業主に対し、奨励金を支給することにより男性が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を促し、男性の育児参加を促進し、子育て世帯の仕事と育児の両立支援を図ることを目的とした、つくば市男性育児休業取得促進奨励金事業を令和5年10月より開始している。育児は家庭や子供・社会のために行うべきものと思う。この事業の目標および市長の思いを伺う。

(答弁) 目標は、中小企業などに勤務する市内の男性従業員の育児休業取得率向上だが、取得率の把握に必要な育児休業取得対象者数の把握が困難なため、奨励金を交付した事業者にはヒアリング調査などで効果測定を行いたいと考えている。男性の育児休業促進に係るこれまでの取り組みや育児休業取得者からの良い影響などを調査して、結果をSNSやHPで情報発信するなど、男性の育児休業取得向上に向けた取り組みを引き続き行いたい。海外の研究では、男性の育児休業取得により、育児休業取得から3年後における父親の家事・育児の実施率や、母親のフルタイム就業率が高まるという統計データが出ている。共働きが社会全体のプラスになることを市として伝え、行政としても個人としても、社会の形を変えるため、よりよい方向に頑張っていきたいと思う。

このほか、認知症対策の取り組み、「年収の壁」について市内事業者に対する取り組み、会計年度任用職員に対する取り組みについて質問した。



きむら きよたか
木村 清隆 議員

(清郷会)



学校の体育館などのエアコン整備について

(質問) 小中学校の教室・特別教室、さらに体育の授業や部活動、集会場として使用される体育館・武道館・卓球場などへのエアコン整備は、熱中症対策として大変重要である。①特別教室のエアコンの整備状況、②体育館などのエアコン整備に関する市の方針および整備、③災害発生時において地域の避難所として利用される体育館などのエアコン整備に関する市の方針および整備について伺う。

(答弁) ①中学校は令和4年度で完了し、小学校は3カ年計画を前倒して令和5～6年度の2カ年で進めている。整備に当たり、教科担任制で特別教室の利用頻度が高い中学校から実施した。小・中学校および義務教育学校のそれぞれの整備順は、施設規模、トイレ等改修工事および工事費総額の平準化などを考慮して決定し、整備時期を分けて実施する。②近年の猛暑により、PTA連絡協議会をはじめ、保護者からも要望がある。現在は小学校の特別教室への設置を進め、その後は幼稚園のプレイルームへの設置を計画している。体育館などは整備方針を定めるまでには至っていないが、他自治体の導入事例を調査しており、好事例を参考に導入方法を含めて検討する。③新たに建設する場合は、災害用井戸や空調設備などの避難所機能を整備するよう教育局と協議・調整している。令和8年度開校予定の(仮称)中根・金田台地区小学校は、災害用井戸を設置するほか、普通・特別教室に併せて体育館にも空調設備の設置を予定している。

(要望) 早期のエアコン整備を要望する。

このほか、上下水道未整備地域の早期整備について質問した。



しおた ひさし
塩田 尚 議員

(山中八策の会)



高齢者対策について

(質問) 我が国は今や超高齢社会を迎えている。高齢者が生き生きと生活するには、元気な高齢者に働く職場を提供できる環境作りが大事である。子どもたちの教育課程においても、老いも若きも共生できる社会が大事であると、小学生のうちから教育すべきである。そのための市の取り組みと、今後に向けた高齢者対策における市長の考えを伺う。

(答弁) 高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現に向け、「つくば市高齢者福祉計画」に基づき、介護サービス事業所の整備や支援、介護予防・健康作りの充実、生きがい作りの支援など、さまざまな事業を実施している。小中学校などでの教育では、人権教育の視点から、差別や偏見は誰に対してもあってはならないという理念の下、各教科、道徳の授業、つくばスタイル科、特別活動などで、発達段階に応じて一人一人を大切に人権意識の醸成を図っている。特に、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育では、高齢者への思いやりや感謝の心を育み、他者の価値や存在を認め合える教育を進めている。今後に向けては、高齢になってもどれだけ積極的に外出し、つながりを作れるかが重要だと思っている。令和5年度は高齢者電動アシスト自転車購入費補助事業による身近な移動手段の整備や高齢者文化芸術鑑賞助成事業も開始しており、友人との会話や趣味などで過ごすことが高齢者の幸せにとって極めて重要だとして、「たまり場」を作っている。高齢者のための施策は非常に包括的で連携して動くものなので、縦割りではなくみんなで1つのゴールに向かって進みたい。



おの やすひろ
小野 泰宏 議員

(公明党つくば)



「市国土強靱化地域計画」の実行性向上を望む

(質問) 今回の能登半島での地震災害を教訓に、つくば市国土強靱化地域計画の実効性を上げていかなければならないと考えるが、市長の見解・考えについて伺いたい。

(答弁) 計画の実効性を高めることは極めて重要である。能登半島地震では、停電・断水の長期化や液状化、建物倒壊、地域の孤立化などの課題が浮き彫りとなり、地域防災計画が27年間見直されず、マグニチュードの想定も7.0程度だったという報道もあった。現実を見据えて高い想定で計画を作ることが鉄則の上で、個別計画もあるこの計画をどう実行していくかは、進捗を管理して確実に投資していくことが必要なので、公共建築物と上下水道設備のどちらも耐震化を確実に進めなければならない。住宅の耐震化の普及啓発や、地区防災計画の策定支援による地域の防災力向上の積み重ねが必要であり、市役所の中での経験値も高めることが重要である。また、災害派遣はつくば市への還元も非常に多いと考える。市を挙げて災害に強いまちを目指し、計画倒れにならず実効性のあるものとするために努力していきたい。

(要望) 計画内容は、多岐にわたる。関係性・対応方策のストーリーは理解できる。問題は、計画の着実な実行ができるかどうか。そのため、財源確保・施策の緻密性・庁内連携が必須。そして最終的には、どのようにして市民を巻き込んでいけるかが計画のカギである。よろしく願いたい。

このほか、労働者協同組合とおくやみ窓口の現状と課題、今後の対応について質問した。



あさの えくこ 議員

(つくば・市民ネットワーク)



【 中学校図書館の充実に向けて 】

(質問) 小中学校などの学校図書館司書の勤務日数が拡充されていることを評価する。が、司書アンケートによると中学校では選書、修繕といった目の前の仕事で手一杯という結果。ガイダンス実施は3割程度。蔵書点検は4割、図書委員会との関わりも半数。生徒が行きたくなる図書館、主体的な学びの場になるような中学校図書館の今後の計画について伺う。

(答弁) 中学校図書館の学校司書の勤務体制は、令和4年度は週1日2時間の勤務だったが、令和5年度は週1～3日の4時間勤務としており、令和6年度は全ての中学校で週3日の4時間勤務に拡充したいと考えている。令和6年度もアンケート調査などにより状況を随時確認しながら、学校司書の勤務体制の充実について継続して検討していく。

(質問) 学校図書館のことを議論していく場として総合教育会議を提案するがいかがか。

(答弁) 本がもたらす価値はあまりにも多く、それに触れられる環境を学校内に用意することは極めて大きな責務である。その中で好奇心を刺激し、市が進める探求していく学びを展開していきたいと思う。また、校内フリースクールと同様の居場所にもなり得ると思う。教育長と相談は必要だが、令和6年度の総合教育会議で、専門家などの知見なども入れながらさまざまな論点で議論し、どういう学校図書館を目指すのかを考えなくてはいけないと思っている。次々年度に向けて何ができるか、予算組みも含めて検討していきたい。

このほか、災害時の要支援者個別避難計画の作成について質問した。



かわむら なおこ 川村 直子 議員

(つくば・市民ネットワーク)



【 「配偶者暴力相談支援センター」の設置を！ 】

(質問) 性暴力やDVなど、困難にある女性への公的支援を明記した「女性支援新法」^{*}(令和6年4月施行)では、市町村の責務が明確化される。市のDV相談と、新法に定める「女性相談支援員」配置状況は。

(答弁) 市のDVに関する相談は、「女性のための相談室」で週3回の「女性のための相談員」による電話、面談による相談のほか、週1回の女性カウンセラーによる相談や、月2回の女性弁護士による法律相談を実施している。「女性のための相談員」は、社会福祉士などの有資格者や、家事調停委員などの経験者に委託しており、女性相談支援員に代わるものではないので、女性相談支援員の配置は今後検討する。DVを主訴とした相談延べ件数は、令和3年度が51件、令和4年度が74件、令和5年度は1月末現在で62件である。

(質問) 令和4年つくば警察署のDV認知件数は247件。仮につくばに配偶者暴力相談支援センターがあれば取り扱い件数は約370件が推計される。市でもDV専門相談窓口＝配偶者暴力相談支援センターの設置と、専門職員の配置が必要だが、考えを伺う。

(答弁) DV認知件数の数字は極めて大きなものを突きつけている。明確な相談窓口がないことで相談できず、泣き寝入りが続くことはあってはならない。配偶者暴力相談支援センター設置は、新年度から早急に検討を始める。併せて専門職員配置も重要と思っている。専門性を持つ人達の活躍の場をつくり、適切な報酬を与えなければ、社会全体の専門性への軽視につながると思う。それぞれについて、議論はすぐに始めて設置していきたい。



つかもと ようじ 塚本 洋二 議員

(自民党政清クラブ)



【 使用済み紙おむつのリサイクルについて 】

(質問) 鹿児島県志布志市の使用済み紙おむつ再資源化事業の会派行政視察を行った。埋め立てごみ削減を目的とした分別を平成10年前後から開始し、市レベルでごみのリサイクル率が17年連続全国1位となった。調査で回収ごみの1～2割が紙おむつだと分かり、埋め立てごみのさらなる減量のため、再資源化の取り組みを再度始めている。現在人口増にあるつくば市は、赤ちゃんの増加と高齢化から紙おむつの利用増加が考えられる。リサイクルについて見解を伺う。

(答弁) 使用済み紙おむつのリサイクルについては、高齢化などに伴い、排出量がさらに増加することが見込まれ、焼却処分量の削減、リサイクルによる再資源化が全国的に課題となっているが、現時点で民間企業との連携・協力なしには、リサイクルすることが困難な状況であると認識している。現在市では、使用済み紙おむつは、燃やせるごみとして処理しているが、今後、家庭をはじめ保育所や老人福祉施設などからの排出量の増加が想定されるので、令和6年度に予定している一般廃棄物処理基本計画の改定時に実施する、ごみ組成分析調査で状況を把握するとともに、他自治体の事例などを調査研究していく。



志布志市の紙おむつ専用回収袋と給水ポリマー

このほか、消防団について、消防団員数の推移と団員確保の取り組み、通常の活動および災害発生時などの活動について質問した。



こもりや さやか 小森谷 さやか 議員

(つくば・市民ネットワーク)



【 災害時のトイレ問題について 】

(質問) 災害時に排せつを何時間も我慢することはできない。水が流れない水洗トイレを使ってしまい汚物で満杯になってしまうことが実際に起こっている。また避難所では、トイレが汚い、寒い、遠いなどの理由により使用を控えようと水分摂取を制限して脱水症状になり災害関連死につながるケースの発生や、トイレを介した感染症の発生と拡大も起こっている。飲食物だけでなく、排せつのための備蓄もセットで考える必要があるが現状は。

(答弁) 災害時におけるトイレの備えについては、本部倉庫、学校等防災倉庫に、携帯トイレは約4万回分、組み立て式簡易トイレは156セットを備蓄している。仮設トイレについては、備蓄していないが、市内に営業所がある企業と災害時における仮設トイレなどの優先提供に関する災害協定を締結している。公共施設におけるマンホールトイレは設置していない。おむつについては、大人用約9千枚、乳幼児用約2万4千枚、生理用品約5万4千枚、トイレットペーパー約3千700ロール、手指消毒用アルコール約2千リットル備蓄している。トイレ用水の確保については、かとりだい交流館や研究学園中学校、つくば市民・学校プールには、断水時にも利用できる井戸水を利用したトイレを整備している。



(要望) マンホールトイレの整備を検討いただきたい。



議会中継
録画配信

- ▶ 本会議（定例会・臨時会）の開催時間は生中継をご覧いただけます。
- ▶ 本会議や委員会などの、各開催日の3日後（休日を除く）以降から録画映像を視聴することができます。



配信ページ

傍聴
される方へ
のお願い

- ▶ **マスク**は各自の判断でご着用ください。
- ▶ 傍聴受付に設置した**消毒液はご自由に**ご使用ください。



傍聴の案内

広報広聴委員	
委員長	小村 政文
副委員長	川久保皆実
委員	宮本 達也
委員	川村 直子
委員	山中 真弓
委員	小森谷さやか
委員	神谷 大蔵
委員	小久保貴史

☎ 議会局議会総務課 029-883-1111（内線 6110・6120・6130）



ながつか たかひろ
長塚 俊宏 議員

（つくば自民党・創生クラブ）



谷田部市街地とその周辺の今後について

（質問） 谷田部庁舎跡地の今後の利活用計画と、その周辺にある公共施設（市民ホールやたべ・谷田部総合体育館・谷田部交流センター・谷田部小学校）の老朽化対策や長寿命化計画について伺う。

（答弁） 谷田部庁舎跡地の今後の利活用計画については、庁舎跡地周辺に公共施設が集積していることから、これらの施設と連携した利活用を含めて検討している。現在は、施設を所管する庁内各部署と共に、各施設の現状と今後の課題などを整理している。市民ホールやたべ、谷田部交流センター、谷田部総合体育館の老朽化対策については、安全性、緊急性などを考慮し、必要な修繕を実施している。長寿命化については、令和4年策定の「つくば市市民文化系施設長寿命化計画」で、市民ホールやたべは令和10～11年度に改築を、谷田部交流センターは令和13～14年度に長寿命化改修を計画している。谷田部総合体育館については、令和3年策定の「つくば市スポーツ施設個別施設計画」で、令和10～11年度に長寿命化改修の実施を計画している。谷田部小学校の老朽化対策などは、令和3年3月策定の「つくば市学校施設長寿命化計画」で、昭和40、50年代に建築した校舎を令和12年度から、体育館の長寿命化改修を令和17年度から行う計画となっている。しかし、TX沿線開発区域内の児童数が増加することから、体育館や昭和40年代に建築した校舎の改修または建て替えを、令和6年度に予定している増築の設計に合わせて検討していく。

このほか、市道台町・萱丸線と小白碓・谷田部線の進捗と共用開始までの計画について質問した。

委員会審査

総務文教分科会

議案など詳細



【議案第130号】令和6年度つくば市一般会計予算

質疑 総務費 魅力発信事業に要する経費に関して、令和5年度市民意識調査におけるHP・SNSなどによる情報発信満足度と、令和6年度に向けた取り組みについて

（答弁） 満足度の目標値42・6%に対し、実績値41・6%であった。HPは、令和5年3月にリニューアルし、スマートフォンでの閲覧性をより向上させている。今後も適切に運営管理を行うとともに、見やすさをブラッシュアップしていく。SNSに関しては、令和5年、任期付き専門職を採用したことを踏まえ、動画配信に力を入れながら、紙媒体と合わせて市政情報を分かりやすく発信するとともに、令和6年度も引き続き、クラブライフに焦点を当てながら魅力ある情報発信を行う。



質疑 教育費 学校教育指導に要する経費に関して、スクーロイヤーの選定方法及び相談できる内容について

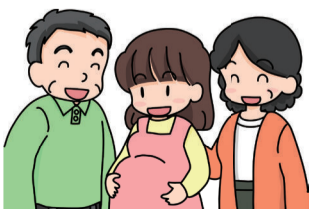
（答弁） 県の弁護士会に依頼して、弁護士を推薦、紹介していただく予定である。委託内容などについては、推薦された弁護士と再度詰めていく方向で進める。また、本事業は、いじめに特化したものではなく、学校現場での教育課題に関わるさまざまな問題や法的悩みに対応するものである。

福祉保健分科会

【議案第130号】令和6年度つくば市一般会計予算

質疑 衛生費 母子健康診査に要する経費に関して、1か月児健診の里帰り出産時の申請方法、また委託先の医療機関とことも未来センターとの連携体制について

（答弁） 里帰り出産時は、予算項目を別立てしている県外医療機関1か月児健診費助成金から、償還払いとして助成する。委託先の医療機関とことも未来センターとの連携については、医療機関とはすでに連携しているため、乳児健診と同様に検査結果を市で把握でき、医療機関で早期介入が必要と判断した場合に連絡があるので、医療機関と連携して支援する。こども未来センター設置後は、健康増進課から引き継いで連携を取るよう考えている。



総務文教委員会

【議案第142号】つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 ▼審査結果II可決すべき理由について
これまで会計年度任用職員に勤勉手当を支給しなかった理由について

福祉保健委員会

【議案第152号】 つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 16段階定められている65歳以上の介護保険料の上限額が他市町村に比べて高く設定されている理由について

【答弁】 介護保険料は、保険料必要額、保険料収入予定額および基金の取り崩し額を調整しながら適切なバランスになるように算出している。つくば市では、所得額に応じて保険料を負担していただくことで低所得者への負担を軽減するとともに、基金の取り崩しなどを減らし、保険料基準額を抑えることができる。現在、現在の上限額を設定している。

市民経済分科会

【議案第130号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】 商工費、物産品振興に要する経費、シン・ツクバメシ開発支援補助金の内容について

【答弁】 県内の各市町村から当地グルメを集め、来場者の投票

により、「いばらき最強ご当地グルメ」を決める「シンいばらきメシ総選挙」というイベントを県が開催する。市としてもエントリーするに当たり、新たなご当地グルメの開発費用の一部を補助するものである。エントリー要件は新規商品や既存商品をブラッシュアップしたものであるため、商品開発に向けた材料費、機材費、イベント当日に必要な消耗品などの購入費を対象として想定している。一般グルメ部門とスイーツ部門の2部門があり、両部門を補助対象として考えている。



市民経済委員会

【請願5第5号】 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書

▼審査結果 採択すべき

【意見】 最低賃金の引き上げは大きな問題で、茨城県が低いと人材が他県に流出し確保できず、自治体間での人材の取り合いにもなってしまう。国として最低賃金を底上げすることで人材不足を解消すること、8時間働けば子育てできることは少子化が加速している時代だからこそ必要なことである。

【意見】 非正規労働者の約7割を女性が占めており、県単位で最低賃金が決まっているため県を超えて人材が流出していくことも大変な問題であると思う。



都市建設分科会

【議案第130号】 令和6年度つくば市一般会計予算

【質疑】 土木費、公共交通政策に要する経費に関し、つくバス運営負担金の減額理由について

【答弁】 2024年問題により、つくバスの便数が現在の317便から、平日274便、休日213便になることから、運転士の人件費や燃料代など、運行に要する経費が減少し、負担金の減額となった。



都市建設委員会

【議案第157号】 つくば市下水道条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 指定工務店の有効期間を3年から5年に延長した背景について

【答弁】 周辺自治体でも有効期間を5年としているところがある。水道も水道法の改正により更新制度が始まっており、その期間も5年であるため、それに合わせる形で条例を改正した。

予算決算委員会

【議案第130号】 令和6年度つくば市一般会計予算

▼審査結果 可決すべき

【反対討論】 市長・市議会議員選挙オンデマンド型移動期日前投票事業に関し、緊急性・必要性についての議論がまだ不十分だと考え、今回の予算で通す必要性を感じていない。荖崎の給食施設についても、質疑の中で緊急性や必要性について聞いたが、十分な説明がなく、今回の予算に上げる必要はないと考え、反対する。

【賛成討論】 一般会計予算は、小中学校給食センターや、保育所や児童クラブなどの整備など、安心できる子育て環境の充実を進めるものである。また、持続可能で包摂的な都市づくりを目指して取り組むとともに、公共施設の老朽化対策やバリアフリー化、再生可能エネルギー利用を促進するもので、市民の多様な幸せづくりをテーマに編成されている。市のまちづくりを進める上で重要であり、市民生活を支えるためのものなので賛成する。

反対討論

学校施設の建設や市民生活に必要なことをするのは当然なことである。限られた税金を最大限、納税者に還元することが予算の基本的な柱になると思っっている。やらなければならぬことをやるのは当然だと思うが、それに加えて、議会のチェック機能として必要のない予算が入っていたため反対する。

【賛成討論】 オンデマンド型移動期日前投票事業は、さまざまな対策が練られ、今回の委員会や議会での議論を踏まえて、全市民に対象を広げ、柔軟に対応していく点に期待する。また、選挙管理委員会事務局に関して、人員を強化するという確かな答弁はなかったが、市役所全体として取り組んでいくという市長の答弁に期待して賛成する。



オンデマンド型移動投票所の車内風景

議案等審議



議案など詳細



【議案第 140 号】 つくば市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

原案可決

修正案に反対の討論 本議案は、つくば市特別職報酬等審議会で答申された内容を反映したものである。この審議会は、学識経験者や市民委員で構成され、議員報酬について、他市報酬額などさまざまな比較要素を基に慎重に審議を重ね、妥当性を検証し結論を出している。また、議員としても、日頃の議会活動およびこれまでの議会改革が評価されたものと受け止め、答申を尊重すべきと考え、当議案に対する修正案について反対する。

修正案に賛成の討論 審議会の議事録を読み、真摯な審議に基づく答申だと重く受け止めている。市で 30 年間議員報酬が見直されず、そのための不均衡を是正することに反対するものではない。議員の活動は、課せられた責任が時間を区切って計れないことなどから一般的な労働とは比較できないが、雇用労働者全体の約 4 割を占める非正規労働者をはじめとする市民の実質賃金は、昨今の物価高騰により低い状況が続く状況を鑑み、本案の報酬上げ幅では市民の理解を得ることが難しく、修正案が妥当である。議員報酬に関する審議会を定期的開催すべきとの審議会での議論も踏まえ、今後、社会情勢を見ながら定期的に見直しを図るべきと考える。また、適用時期も市民からの 4 年間の評価が出た後の実施とし、次期議員任期からが妥当である。



反対討論

民間事業所の給与実態調査から、市の平均給与は、全国平均に満たない額であった。今般の物価高で市民生活は逼迫する中、年額 200 万円以上の報酬引き上げは市民感覚からかけ離れている。平成 22 年 12 月 31 日現在の全国の市議会議員報酬の平均額と比べ、現在の金額はほぼ平均値がそれ以上である。規模の大小があり一概に比較できないが、つくば市の報酬額が過少とは言えない。成り手不足解消のため行方市で 3 万 9 千円、結城市および東海村で 2 万円引き上げた一方で、つくば市は成り手不足には該当せず、今回の引き上げ幅は異例と言え、市民理解を得られるものではない。

働者全体の約 4 割を占める非正規労働者をはじめとする市民の実質賃金は、昨今の物価高騰により低い状況が続く状況を鑑み、本案の報酬上げ幅では市民の理解を得ることが難しく、修正案が妥当である。議員報酬に関する審議会を定期的開催すべきとの審議会での議論も踏まえ、今後、社会情勢を見ながら定期的に見直しを図るべきと考える。また、適用時期も市民からの 4 年間の評価が出た後の実施とし、次期議員任期からが妥当である。

賛成討論

有識者、市民委員からなる審議会で多くの資料を基に客観的な立場での議論を経た答申内容は非常に重要なものである。市民の行政への要望が多様化・複雑化し、議員の役割と責任が増し、議員活動に専念できる額とすべきだが現在の額では過小などの意見、予算の歳出総額に対する議会費の割合が非常に低いとの言及がなされ、厳正かつ慎重に審議を重ねた結果を表している。市の歳出総額に対する議会費の割合は、他自治体と比べ平均以下で突出した割合ではない。さらに、この金額になった要因は長期間見直されなかったためと重ねて指摘された。全国でも類を見ないほど状況が大きく変化中、仕事の重さと報酬額が不均衡な状態である。県内の人口上位 3 自治体との均衡を考慮した年間支給額への増額と、できる限り速やかな改定が適当との審議会の結論は妥当と考える。附帯意見の内容も十分に理解できる。

提出者	議案第 140 号 修正案	別表の改正規定中の金額を次のように改める。 議長の項中 「6980000円」を「6480000円」を 副議長の項中 「6260000円」を「5680000円」を 議員の項中 「5840000円」を「5290000円」を	附則中「令和 6 年 4 月 1 日」を「令和 6 年 11 月 30 日」に改める	採決 結果
皆川 幸枝 議員 川村 直子 議員 あさのえくこ議員 小森谷さやか議員				否決



令和 6 年 3 月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載)

議案等番号	つくば自民党・創生クラブ							自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば		日本共産党つくば市議団		つ	緑	清	山	社			
	小村 正文	高野 文男	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠 議長	久保谷 孝夫	宮本 達也	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	鈴木 富士雄	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	皆川 幸枝	浜中 勝美	小野 泰宏						山中 真弓	橋本 佳子	川久保 皆実
議案第 130 号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 132 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 140 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	退	○
議案第 140 号(修正案)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退	×
請願 5 第 6 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
意見書案第 8 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
 ※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 緑=新緑会 清=清郷会 山=山中八策の会 社=新社会党つくば
 ※ 議員からの申し出に基づき掲載。
 ※ 議決日に欠席した議員
 2月13日:高野 文男 議員

令和 6 年 3 月 定例会 議案等 議決結果 一覧

報告案件		案件名	議決結果
【報告第 35 号】 専決処分事項の報告について		【議案第 166 号】 つくば市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
【報告第 36 号】 専決処分事項の報告について		【議案第 167 号】 財産の取得について	原案可決
【報告第 37 号】 専決処分事項の報告について		【議案第 168 号】 財産の取得について	原案可決
案件名	議決結果	【議案第 169 号】 財産の取得について	原案可決
【議案第 124 号】 令和 5 年度つくば市一般会計補正予算 (第 7 号)	原案可決	【議案第 170 号】 財産の取得について	原案可決
【議案第 125 号】 令和 5 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号)	原案可決	【議案第 171 号】 つくば市オンブズマンの任命について	同意
【議案第 126 号】 令和 5 年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決	【議案第 172 号】 つくば市オンブズマンの任命について	同意
【議案第 127 号】 令和 5 年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決	【議案第 173 号】 つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
【議案第 128 号】 令和 5 年度つくば市水道事業会計補正予算 (第 4 号)	原案可決	【議案第 174 号】 つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
【議案第 129 号】 令和 5 年度つくば市下水道事業会計補正予算 (第 3 号)	原案可決	【議案第 175 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 130 号】 令和 6 年度つくば市一般会計予算	原案可決	【議案第 176 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 131 号】 令和 6 年度つくば市国民健康保険特別会計予算	原案可決	【議案第 177 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 132 号】 令和 6 年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	【議案第 178 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 133 号】 令和 6 年度つくば市作岡財産区特別会計予算	原案可決	【議案第 179 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 134 号】 令和 6 年度つくば市等公平委員会特別会計予算	原案可決	【議案第 180 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 135 号】 令和 6 年度つくば市介護保険事業特別会計予算	原案可決	【議案第 181 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 136 号】 令和 6 年度つくば市水道事業会計予算	原案可決	【議案第 182 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 137 号】 令和 6 年度つくば市下水道事業会計予算	原案可決	【議案第 183 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 138 号】 つくば市監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 184 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 139 号】 つくば市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 185 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 140 号】 つくば市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 186 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 141 号】 つくば市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 187 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 142 号】 つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 188 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 143 号】 つくば市戸籍法及び住民基本台帳法関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 189 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 144 号】 つくば市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 190 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 145 号】 つくば市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 191 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 146 号】 つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 192 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 147 号】 つくば市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 193 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 148 号】 つくば市指定地域密着型サービスの指定基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 194 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 149 号】 つくば市指定地域密着型介護予防サービスの指定基準等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 195 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 150 号】 つくば市指定居宅介護支援事業等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 196 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 151 号】 つくば市指定介護予防支援事業者の指定基準等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 197 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 152 号】 つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 198 号】 つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第 153 号】 つくば市の地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第 199 号】 作岡財産区管理委員の選任について	同意
【議案第 154 号】 つくば市建築基準条例の一部を改正する条例について	原案可決	【諮問第 5 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第 155 号】 つくば市水道事業及び下水道事業設置等条例の一部を改正する条例について	原案可決	【諮問第 6 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第 156 号】 つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	【諮問第 7 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第 157 号】 つくば市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	【諮問第 8 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第 158 号】 市道路線の認定について	原案可決	【諮問第 9 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第 159 号】 市道路線の変更について	原案可決		
【議案第 160 号】 財産の取得について	原案可決	請 願	議決結果
【議案第 161 号】 和解について	原案可決	【請願 5 第 5 号】 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	採 択
【議案第 162 号】 つくば市医療福祉費支給条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願 5 第 6 号】 荻崎学校給食センターの建て替えと地場産・有機食材の拡充を求める請願書	趣旨採択
【議案第 163 号】 サイクルパークつくば条例の一部を改正する条例について	原案可決	意 見 書	議決結果
【議案第 164 号】 財産の取得について	原案可決	【意見書案第 6 号】 最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書	原案可決
【議案第 165 号】 つくば市行政組織条例の一部を改正する条例について	原案可決	【意見書案第 7 号】 介護保険制度における訪問介護の基本報酬減額を早急に見直すことを国に求める意見書	原案可決
		【意見書案第 8 号】 沖縄の基地負担軽減に向け、地方自治を尊重し、民主主義の根幹である対話による課題解決を国に求める意見書	否 決



議案の審議
状況と
議決結果



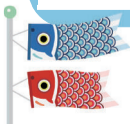
請願
一覧



意見書・
決議一覧



詳細は QR コード参照



いちからわかる！

議会傍聴



&



Q

初めての傍聴
何がオススメ？

A

一般質問が
オススメです！

一般質問一覧をチェックし、興味のある質問を傍聴してみよう！

01

Q

そもそも一般質問って何？

A

一般質問とは、議員が市長や教育長などの執行部に対して、市政の課題を迫及したり、政策提言などを行う場です。

Q

一般質問っていつやるの？どんな質問をするの？

A

つくば市議会HPの一般質問一覧にて、一般質問の日程と各議員の質問事項を確認できます。



Q

議会はどこで
やってるの？

A

市役所 6階で
やってます！

議会の開催日程をチェックし、市役所6階に行ってみよう！

02

Q

議会はいつどこでやってるの？

A

つくば市議会HPにて、議会の開催日程を確認できます。場所は、市役所本庁舎6階にある本会議場や委員会室等です。



Q

議会の傍聴に必要な手続きは？

A

事前申し込みは不要で、当日に受け付けをするだけでOKです。
※手話通訳・要約筆記を希望される方は、傍聴予定日の7日前までに議会局にお申し込みください。

Q

オンラインでも
見られるの？

A

ライブ中継
& 録画放映
やってます！

まずはライブ中継 or 録画放映で、気軽に見てみよう！

03

Q

ライブ中継や録画放映はどこで見られるの？

A

つくば市議会HPにてご覧いただけます。
※一般質問もこちらで視聴できます。



Q

すべての日程について、ライブ中継や録画放映で見られるの？

A

ライブ中継は本会議のみですが、録画放映は全ての会議がご覧いただけます。
※録画放映の公開日は、開催日から3日後（休日を除く）以降です。

アンケートへのご協力ありがとうございました！

令和6年2月に実施したつくば市議会だよりについてのアンケートにご回答をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

前号で試行的に一般質問のページを横書きにしたことについて読みやすいというご意見が多かったので、今後も横書きとする方針に決まりました。

その他、お寄せいただいた貴重なご意見を踏まえ、つくば市議会だよりの改善に向けて引き続き取り組んでまいります。

市議会だより改善アイデア募集フォームを新設！

市議会だよりの改善アイデアを気軽にお寄せいただけるよう、常設のオンラインフォームを新設しました。

右のQRコードをスマートフォンまたはタブレットで読み取り、フォームに入力の上、送信してください。

※つくば市議会HPからもフォームにアクセス可能です。

